

# 環境報告書

## 2021



SHIGA UNIVERSITY

滋賀大学

# 目次

## 環境報告書2021 目次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 滋賀大学環境方針                  |    |
| 基本理念・環境方針 .....           | 2  |
| 環境マネジメント                  |    |
| エネルギー管理組織図 .....          | 3  |
| 環境配慮行動実施計画 .....          | 4  |
| 環境パフォーマンス .....           | 5  |
| 原油換算エネルギー使用量              |    |
| エネルギー使用割合                 |    |
| 電力使用量                     |    |
| 水道使用量                     |    |
| ガス使用量                     |    |
| 重油使用量                     |    |
| 廃棄物等による環境負荷低減 .....       | 7  |
| 廃棄物排出量                    |    |
| 石綿（アスベスト）等                |    |
| ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の処理状況    |    |
| 環境マネジメント活動の推進 .....       | 8  |
| コピー用紙等購入量                 |    |
| ごみの分別収集                   |    |
| クリーンキャンパス                 |    |
| 照明のLED化                   |    |
| キャンパス内の全面禁煙について           |    |
| 環境教育の推進 .....             | 10 |
| 1. 講義全体が「環境」に関する開講科目      |    |
| 2. 部分的に「環境」をテーマに取り入れた開講科目 |    |
| 大学概要と本報告書の対象範囲 .....      | 14 |

## 滋 賀 大 学 環 境 方 針

### A. 基本理念

滋賀大学は、琵琶湖を擁した滋賀県に立地する大学として、環境保全を最重点課題として積極的に取り組み、キャンパスからの環境負荷の低減をはかり、自然との調和をかなえる魅力あるキャンパス作りをめざす。

また在学生・卒業生が社会で環境課題に関わって指導的な役割を果たすことができるように、大学の教育・研究内容に工夫をこらし、環境マインド、環境スキルを主体的に身につけ、地域や職場でその力量を発揮できる人材を養成することをめざす。

### B. 環境方針

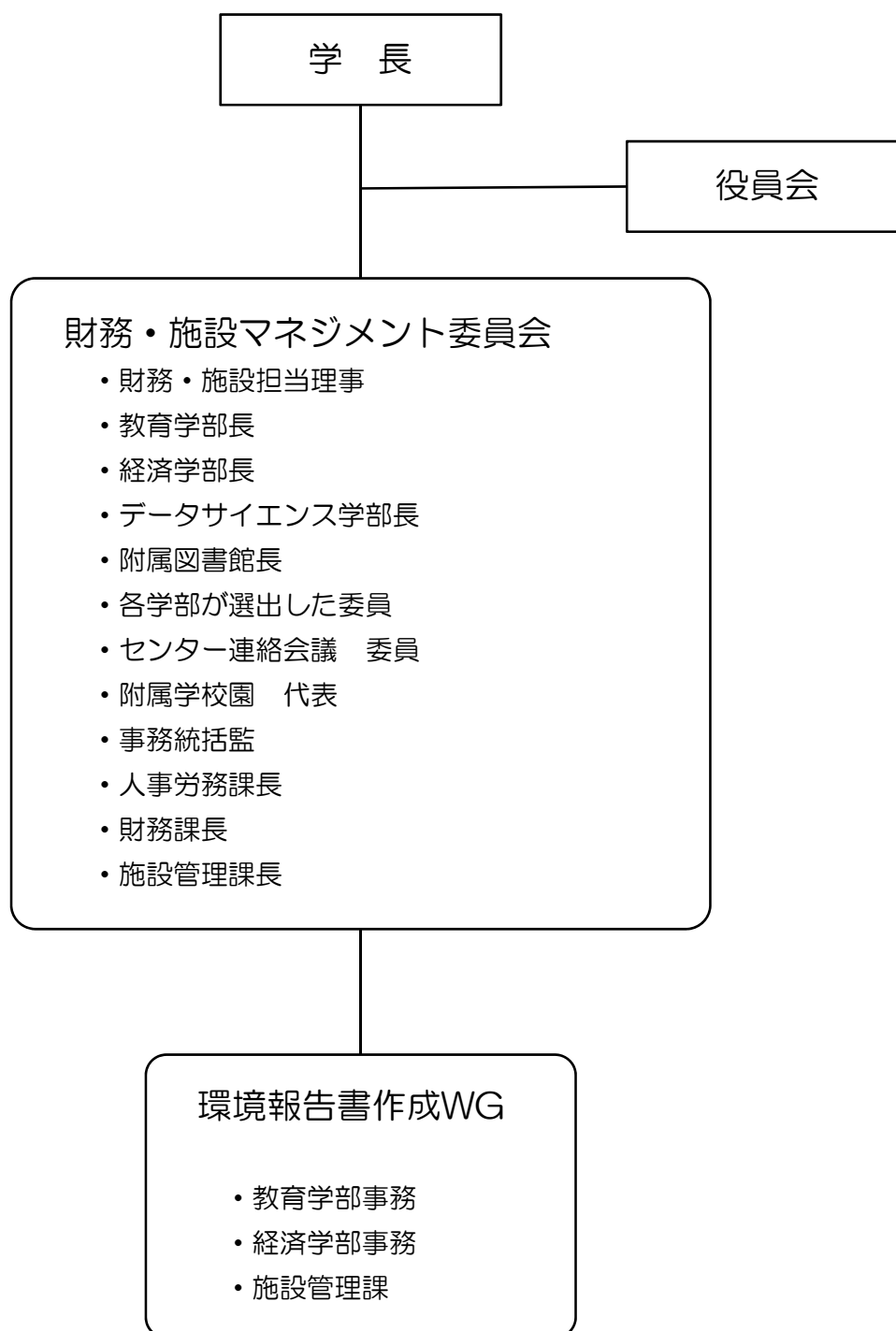
1. 琵琶湖を擁した滋賀県に立地する大学として、キャンパスから環境への負荷を低減し、予防していくとともに、環境に配慮した教育・研究を推進し、環境課題に関わって指導的な役割を果たすことができる人材を養成していく。
2. 滋賀大学の構成員は、その活動に適用される環境関連法規、規制、協定などを遵守する。
3. この環境方針を達成するために、環境目的・目標を設定し、構成員は一致してこれらの目的・目標の達成と見直しを図る。
4. 環境監査を実施して、環境マネジメントシステムを見直し、継続的改善を図る。

この環境方針は文書化して、構成員に周知するとともに、大学内外にも開示する。

平成 22 年 5 月 11 日

国立大学法人 滋賀大学

## エネルギー管理体制図



※環境報告書の記事等については、教職員の協力を得て作成しています。

# 環境配慮行動実施計画

## ■省エネルギー・省資源の推進

### ●エネルギー使用量・温室効果ガスの削減

(実施計画)

- ・エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。
- ・掲示物等で省エネの啓発を行う。
- ・廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のLED照明器具への更新、省エネに配慮した機器、システムの導入を推進する。

### ●水使用量の節減

(実施計画)

- ・掲示物等で節水の啓発を行う。
- ・トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。

## ■廃棄物の抑制

### ●一般廃棄物の排出抑制

(実施計画)

- ・分別回収を徹底強化する
- ・掲示物等で省エネの啓発を行う。
- ・掲示によるマナー啓発活動を展開する。

### ●用紙使用量の削減

(実施計画)

- ・用紙の両面利用を推進し、使用量の削減を図る。
- ・学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。

## ■学内美化

### ●ゴミの一斉収集と雑草の刈り取り

(実施計画)

- ・クリーンキャンパスを年1回実施し、教職員と学生による一斉清掃と雑草刈りを行い、環境美化を図る。

## ■禁煙対策

### ●キャンパス内全面禁煙の実施

(実施計画)

- ・全面禁煙とする。(2019年5月31日より実施)

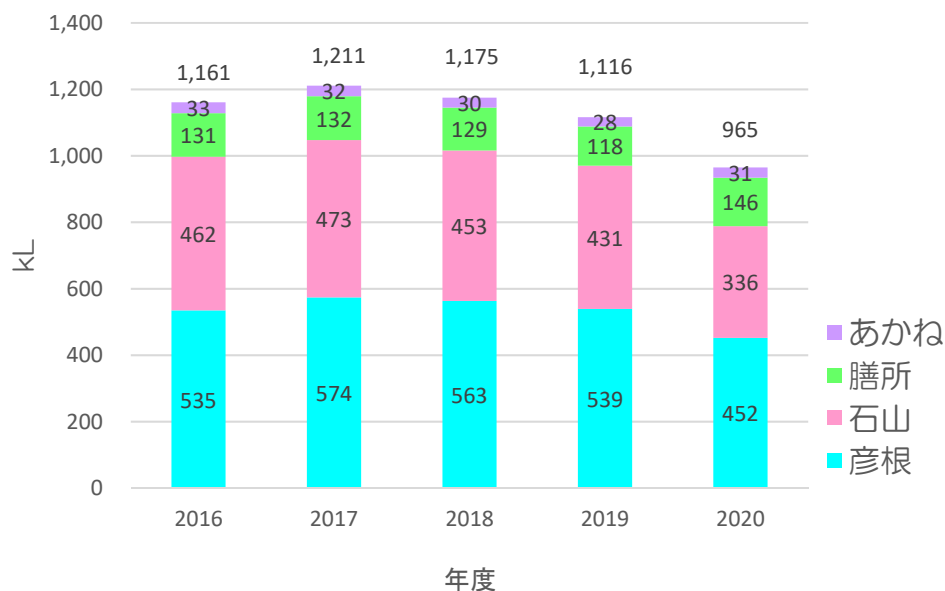
# 環境パフォーマンス

## 原油換算エネルギー使用量

本学で使用している電気、ガス、重油を原油換算したエネルギー使用量の推移を表しています。

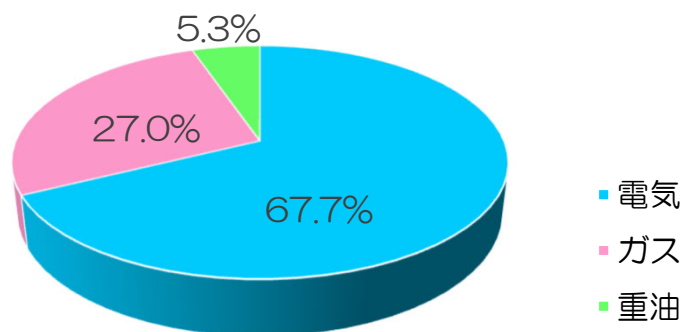
2017年度まで増加傾向にありましたが、2018年度から減少しており、2020年度は前年度より13.5%の減少となりました。

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン授業を導入したこと等が要因のひとつと考えられます。



## エネルギー使用割合

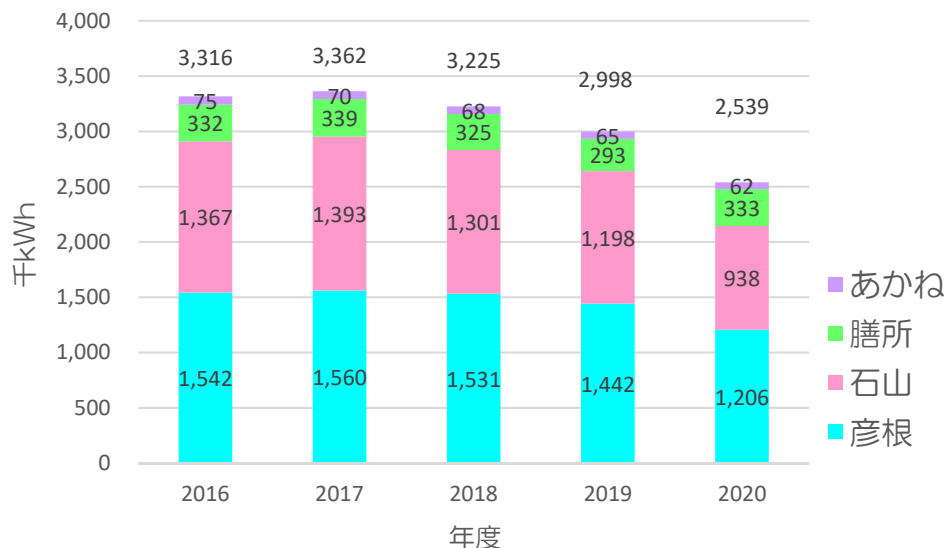
電気、ガス、重油の使用量を原油換算してエネルギー使用量を比較すると、電気の割合が約68パーセントと高いことがわかります。



## 電力使用量

2010年度以降の節電努力等により、電力使用量は年々減少傾向にあります。

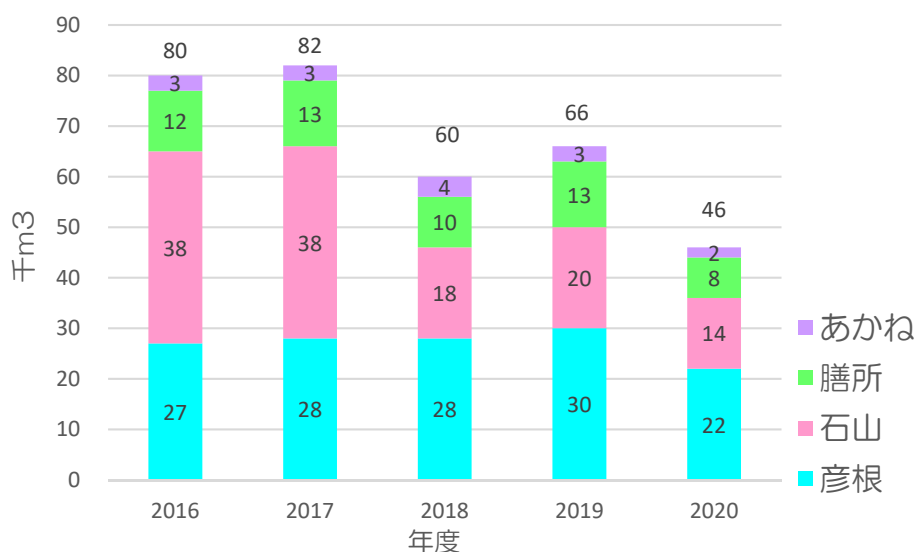
2020年度は2016年度比で約23%減少しています。



# 環境パフォーマンス

## 水道使用量

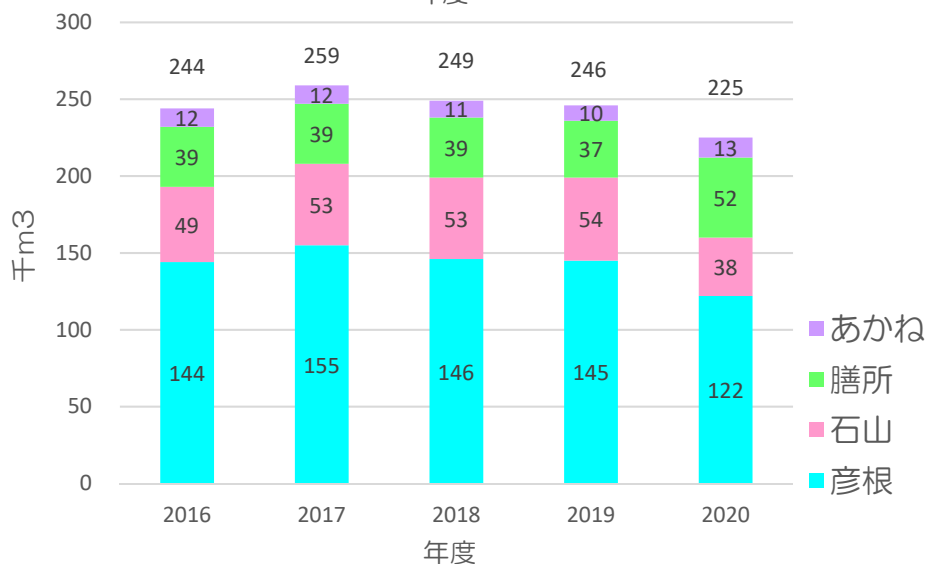
2019年度は前年度より増加してましたが、2020年度は前年度比で約3割減少しました。



## ガス使用量

ガス使用量は、2017年度より、減少傾向にあります。2020年度は前年度に比べ、膳所・あかねでは増加、彦根・石山では減少しており、総量では約8%減少しました。

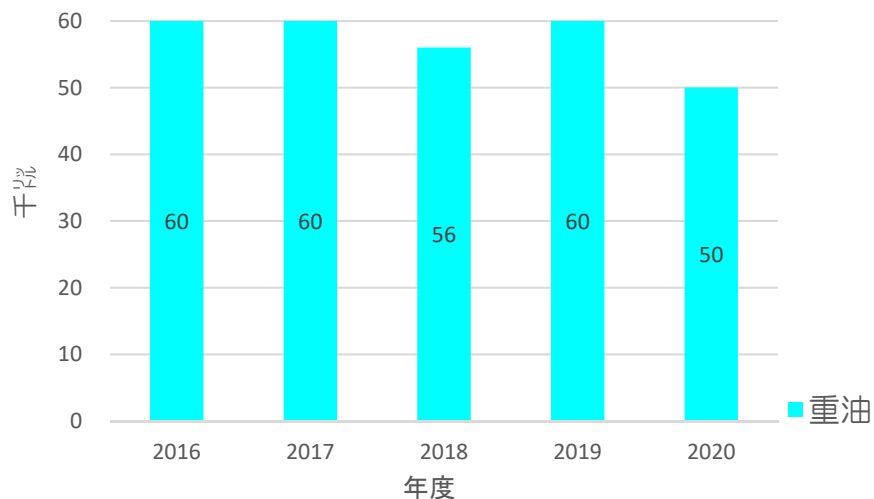
膳所・あかねでは、換気の推奨による冷暖房負荷の増加が一因と考えられます。



## 重油購入量

重油は石山地区のボイラー設備にのみ使用しています。

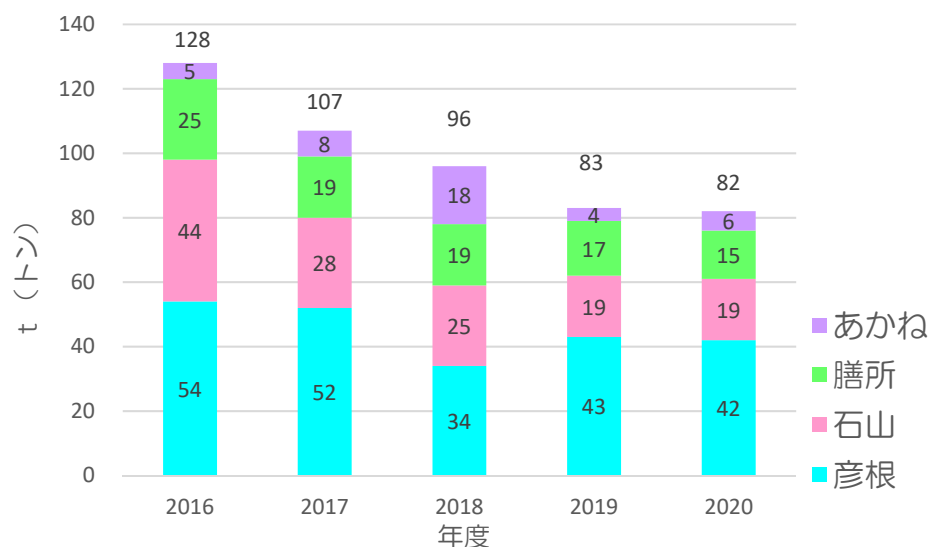
購入量は、毎年6万リットル前後で推移しています。



# 廃棄物等による環境負荷低減

## 廃棄物排出量

廃棄物排出量は、2016年度より減少傾向にあります。2020年度は前年度とほぼ同じ排出量でした。



## 石綿（アスベスト）等

本学において、非飛散性アスベストが含まれる建材や実験機器等を処分する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正な処分を行っています。

## ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の処理状況

「ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に基づき、PCB廃棄物の保管・運搬・処理においては、適切な対応が必要となっています。

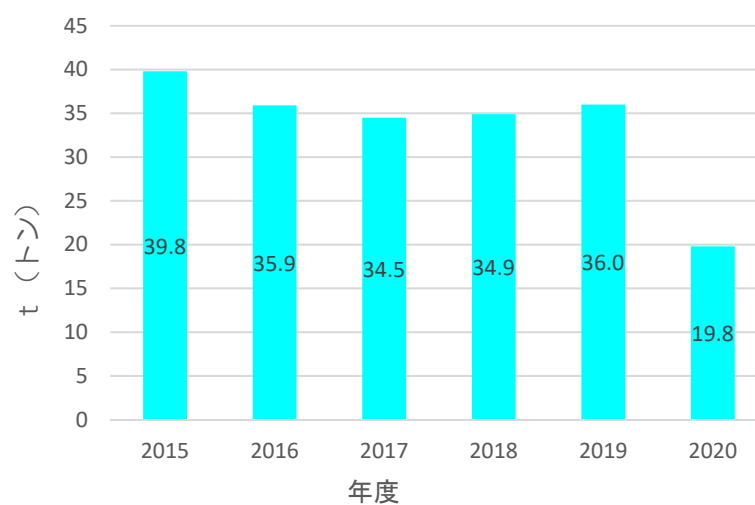
滋賀大学では、学内に管理・保管していた蛍光灯安定器、高圧トランス等をPCB含有廃棄物として、平成29年（2017年）12月に処理を完了しました。また、2019年度に新たに発見されたPCB安定器一つについては、2021年7月に処理を完了しました。



# 環境マネジメント活動の推進

## コピー用紙等購入量

2015年度以降の年間コピー用紙等購入量は、35トン程度で推移していましたが、2020年度は前年度比で45%減となりました。オンラインによる会議等の実施が減少の一因と考えられます。



## ごみの分別収集

滋賀大学では、ごみの分別収集に取り組んでおり、可燃、不燃（廃プラスチック類）、ビン・カン、ペットボトル等に分けてごみ箱を設置しています。



## クリーンキャンパス

彦根地区・石山地区では、それぞれ年2回、教職員と学生により、一斉清掃を行っています。（2020年度は休止）

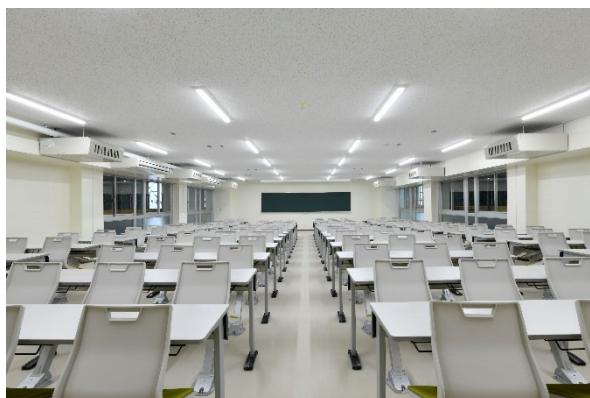


# 環境マネジメント活動の推進

## 照明のLED化

省エネルギー対策として、改修工事時に電気使用量の削減が見込まれる照明器具のLED化を進めています。

2020年度は、大津キャンパスの講義棟、美術・技術・職業棟、福利施設等で、LED照明への改修を実施しました。



教育学部講義棟講義室



教育学部福利施設購買

## キャンパス内の全面禁煙について

学生及び教職員の更なる健康増進の観点から、2019年5月31日より、すべてのキャンパスを「全面禁煙」としています。

# 環境教育の推進

滋賀大学では、「環境」に関する科目を開講しています。

◎科目名に「環境」が含まれる開講科目（2020年度）※シラバスより抽出

| 科目名          | 担当教員                      | 開講期 |
|--------------|---------------------------|-----|
| 【教養教育】       |                           |     |
| 環境問題を学ぶ      | 中野 桂, 和田 佳之, 松下 京平        | 秋学期 |
| 環境教育概論       | 市川 智史, 石川 俊之, 森 太郎, 久保 加織 | 秋学期 |
| 【教育学部】       |                           |     |
| 環境（指導法）      | 山本 一成, 中井 清津子             | 春学期 |
| デジタル環境とメディア  | 松原 伸一                     | 秋学期 |
| コミュニティと住環境   | 田中 宏子                     | 春学期 |
| 住生活と環境       | 田中 宏子                     | 春学期 |
| 環境法概論        | 渡邊 暁彦                     | 春学期 |
| 経済環境概論       | 上田 和宏                     | 秋学期 |
| 環境社会学        | 宮本 結佳                     | 春学期 |
| 社会環境演習Ⅱ      | 宮本 結佳                     | 春学期 |
| 社会環境演習Ⅳ      | 宮本 結佳                     | 秋学期 |
| 環境倫理学        | 安井 絢子                     | 春学期 |
| 衣生活と環境       | 與倉 弘子                     | 秋学期 |
| 環境教育基礎演習Ⅰ    | 石川 俊之, 森 太郎, 與倉 弘子        | 秋学期 |
| 環境教育基礎演習Ⅱ    | 森 太郎, 石川 俊之, 久保 加織, 與倉 弘子 | 秋学期 |
| 湖沼環境学習論      | 石川 俊之                     | 春学期 |
| 水環境教育実習      | 石川 俊之                     | 春学期 |
| 環境学習計画論      | 市川 智史                     | 春学期 |
| 環境教育演習Ⅰ      | 石川 俊之                     | 春学期 |
| 環境教育演習Ⅱ      | 森 太郎                      | 春学期 |
| 環境教育演習Ⅲ      | 石川 俊之                     | 秋学期 |
| 環境教育演習Ⅳ      | 森 太郎                      | 秋学期 |
| 【経済学部】       |                           |     |
| 環境経済学Ⅰ       | 松下 京平                     | 春学期 |
| 環境経済学Ⅱ       | 松下 京平                     | 秋学期 |
| 【データサイエンス学部】 |                           |     |
| 環境政策論        | 小郷原 一智, 加藤 博和             | 秋学期 |
| 環境政策演習       | 小郷原 一智, 加藤 博和             | 秋学期 |

# 環境教育の推進

| 科目名                 | 担当教員  | 開講期 |
|---------------------|-------|-----|
| 【大学院教育学研究科（修士課程）】   |       |     |
| 環境教育特論              | 市川 智史 | 春学期 |
| 環境教育課題研究            | 市川 智史 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 久保 加織 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 松田 隆典 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 與倉 弘子 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 石川 俊之 | 通年  |
| 環境教育特論演習            | 市川 智史 | 秋学期 |
| 地域環境教育特論            | 森 太郎  | 春学期 |
| 地域環境教育特論演習          | 森 太郎  | 秋学期 |
| 湖沼環境特論              | 石川 俊之 | 秋学期 |
| 地域社会環境特論演習          | 松田 隆典 | 春学期 |
| 地域食生活環境特論           | 久保 加織 | 春学期 |
| 地域住生活環境特論           | 田中 宏子 | 春学期 |
| 地域衣生活環境特論           | 與倉 弘子 | 春学期 |
| 環境生態学特論             | 石川 俊之 | 春学期 |
| 環境教育特論              | 市川 智史 | 春学期 |
| 環境教育課題研究            | 市川 智史 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 久保 加織 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 松田 隆典 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 與倉 弘子 | 通年  |
| 環境教育課題研究            | 石川 俊之 | 通年  |
| 環境教育特論演習            | 市川 智史 | 秋学期 |
| 環境社会学特論             | 宮本 結佳 | 春学期 |
| 地域食生活環境特論           | 久保 加織 | 春学期 |
| 環境生態学特論             | 石川 俊之 | 春学期 |
| 環境生態学特論演習           | 石川 俊之 | 秋学期 |
| 【大学院経済学研究科（博士前期課程）】 |       |     |
| 環境経済学特講Ⅰ            | 松下 京平 | 秋学期 |
| 環境リスク管理論特講          | 森 宏一郎 | 春学期 |

# 環境教育の推進

| 科目名       | 担当教員                           | 開講期 |
|-----------|--------------------------------|-----|
| 経営環境分析特講Ⅰ | 御手洗 久巳                         | 春学期 |
| 経営環境分析特講Ⅱ | 熊谷 直次                          | 春学期 |
| 経営環境分析特講Ⅲ | 御手洗 久巳                         | 秋学期 |
| 経営環境分析特講Ⅳ | 熊谷 直次                          | 秋学期 |
| 経営環境分析特講Ⅴ | 長谷川 正人, 又木 毅正, 村上 武, 森 健, 福地 学 | 春学期 |

◎キーワードに「環境」が含まれる開講科目（2020年度）※シラバスより抽出

| 科目名                    | 担当教員          | 開講期 |
|------------------------|---------------|-----|
| 【教育学部】                 |               |     |
| 健康（指導法）                | 奥田 援史         | 春学期 |
| 環境（指導法）                | 山本 一成, 中井 清津子 | 春学期 |
| デジタル環境とメディア            | 松原 伸一         | 秋学期 |
| コミュニティと住環境             | 田中 宏子         | 春学期 |
| 経済環境概論                 | 上田 和宏         | 秋学期 |
| 環境社会学                  | 宮本 結佳         | 春学期 |
| 環境倫理学                  | 安井 絢子         | 春学期 |
| 生物学演習Ⅰ A               | 服部 昭尚         | 春学期 |
| 生物学演習Ⅱ A               | 服部 昭尚         | 秋学期 |
| 理科実験実習法Ⅰ               | 服部 昭尚         | 春学期 |
| 理科実験実習法Ⅱ               | 服部 昭尚         | 秋学期 |
| 衣生活と環境                 | 與倉 弘子         | 秋学期 |
| 住居及びコミュニティ計画実習（製図を含む。） | 田中 宏子         | 秋学期 |
| 湖沼環境学習論                | 石川 俊之         | 春学期 |
| 琵琶湖学特論                 | 石川 俊之         | 秋学期 |
| 卒業論文                   | 久保 加織         | 通年  |
| 【経済学部】                 |               |     |
| 専門演習Ⅰ                  | 鈴木 康夫         | 春学期 |
| 専門演習Ⅰ                  | 森 宏一郎         | 春学期 |
| 専門演習Ⅰ                  | 北田 真紀         | 春学期 |
| 専門演習Ⅱ                  | 森 宏一郎         | 秋学期 |



# 環境教育の推進

| 科目名                   | 担当教員  | 開講期 |
|-----------------------|-------|-----|
| 専門演習Ⅱ                 | 北田 真紀 | 秋学期 |
| 専門演習Ⅲ                 | 森 宏一郎 | 春学期 |
| 専門演習Ⅳ                 | 森 宏一郎 | 秋学期 |
| 現代資本主義論               | 梅澤 直樹 | 秋学期 |
| エコロジカル経済学             | 森 宏一郎 | 秋学期 |
| 環境経済学Ⅰ                | 松下 京平 | 春学期 |
| 環境経済学Ⅱ                | 松下 京平 | 秋学期 |
| 【データサイエンス学部】          |       |     |
| データサイエンス実践価値創造演習Ⅰ     | 加藤 博和 | 春学期 |
| データサイエンス実践価値創造演習Ⅰ     | 田中 勝也 | 春学期 |
| データサイエンス実践価値創造演習Ⅱ     | 加藤 博和 | 秋学期 |
| データサイエンス実践価値創造演習Ⅱ     | 田中 勝也 | 秋学期 |
| データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅰ | 加藤 博和 | 春学期 |
| データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅱ | 加藤 博和 | 秋学期 |
| 【大学院教育学研究科（修士課程）】     |       |     |
| 食物学特論                 | 久保 加織 | 春学期 |
| 食物学演習                 | 久保 加織 | 秋学期 |
| 住居学特論                 | 田中 宏子 | 春学期 |
| 環境教育課題研究              | 與倉 弘子 | 通年  |
| 環境教育課題研究              | 石川 俊之 | 通年  |
| 食物学演習                 | 久保 加織 | 春学期 |
| 住居学特論                 | 田中 宏子 | 秋学期 |
| 環境教育課題研究              | 與倉 弘子 | 通年  |
| 環境教育課題研究              | 石川 俊之 | 通年  |
| 環境社会学特論               | 宮本 結佳 | 春学期 |
| 【大学院経済学研究科博士前期課程】     |       |     |
| 環境経済学特講Ⅰ              | 松下 京平 | 秋学期 |
| 経営環境分析特講Ⅱ             | 熊谷 直次 | 春学期 |
| 経営環境分析特講Ⅳ             | 熊谷 直次 | 秋学期 |

# 大学概要と本報告書の対象範囲

## ■大学概要

大学名：国立大学法人滋賀大学

所在地：滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号

学 長：位田隆一

構成員：総数 4,208 人（科目等履修生等を含む）

## ■本報告書の対象範囲

期 間：2020年4月1日～2021年3月31日

構成員数：全構成員 4,208 人

キャンパス：全キャンパス

彦根キャンパス（経済学部、データサイエンス学部）

大津キャンパス（教育学部）

膳所団地（教育学部附属中学校、小学校、幼稚園）

あかね団地（教育学部附属特別支援学校）

建物床面積：89,309 m<sup>2</sup>

発行日：2022年3月

連絡先

国立大学法人滋賀大学 施設管理課

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号

TEL 0749-27-1016

